



むさし台

令和3年4月30日

No. 2

府中市立武蔵台小学校

校長 堀 誠一



<http://www.fuchu11s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

子ども達の声に耳を澄ませ

校長 堀 誠一

新緑の若葉が色鮮やかな季節になってきました。新年度が始まり1か月が経とうとしています。新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が府中市にも適用される中、保護者会を開かせていただきました。短い時間でしたが担任より子ども達の様子をお伝えし、今年度の年間計画等をお話しさせていただきました。現在は3度目の緊急事態宣言下に置かれています。今後は感染症の拡大状況によって諸行事の中止・延期等の変更も考えられます。子ども達の健康と安全を第一に考えながら教育活動を進めてまいります。



本屋大賞を受賞した『52ヘルツのクジラたち』を読みました。52ヘルツのクジラとは、他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く世界で一頭だけのクジラのことを指しています。周囲の仲間に伝えたくても何も伝えられない、声が届けられないクジラ、それゆえ世界で一番孤独な存在だと言われています。主人公は両親から愛されず時に虐待を受け、人生に絶望感を抱いた自らの境遇に、孤独なクジラを重ね合わせます。学校ではコロナ下で、大きな声で発言する・歌を歌う、元気よく挨拶するという今まで当たり前であったことを求めない指導が続いています。声のトーンを抑えた会話を是とする場面が増えてきました。もしかしたら、武蔵台小学校の中にも、不安や悩みを抱え、誰にも言えない思いを抱えている子がいるかもしれません。声なき声に耳を澄ませ、子ども達の訴えを敏感に察知することができる学校でありたいと改めて思いました。

《5月の詩の暗唱》

くまさん

まど・みちお

はるが きて

めが さめて

くまさん ぼんやり かんがえた

さいているのは たんぼぼだが

ええと ぼくは だれだっけ

だれだっけ



はるが きて

めが さめて

くまさん ぼんやり かわにきた

みずに うつつた いいかおみて

そつだ ぼくは くまだった

よかったな

今年度もまた全校で詩の暗唱の取組を始めています。子ども達に毎月一編の詩を紹介します。学級や家庭で詩を覚え、覚えた子には、校長室で暗唱の発表をしてもらいます。ご家庭でも、お子様の暗唱を聞いていただけたら幸いです。